令和８年度 学校教育目標・経営の重点

＜学校教育目標＞

「心豊かで、たくましく、自ら学ぶ子どもの育成」

目指す学校の姿

○**希望**…確かな学力と体力を身に付け、子どもたちの夢を育む学校

○**友情**…元気なあいさつと思いやり、協働活動の充実で心の育つ学校

○**前進**…郷土と共に生き、家庭や地域社会に開かれた活力ある学校

目指す子どもの姿

やさしい子
「相手を思いやり
共に伸びる子ども」

しんぼう強い子
「心身共に健康で
がまん強い子ども」

すすんでまなぶ子
「課題を見付け
自ら学ぶ子ども」

目指す職場の姿

○同僚の「よさ」から学ぶ職場
○保護者や地域の方々を大切にする職場

目指す教職員の姿

○子どもを大切にし、子どもから学ぼうとする教職員
○子どもの成長を認め、共によろこぶ教職員
○保護者や地域と連携し、子どもの成長を支える教職員
○自ら研修に励み、お互いに資質能力を高め合う教職員

＜経営の重点＞

(1)楽しく、安心して通える学級・学校づくり

①「いる価値を感じる」「分かってもらえる」「自分で決められる」「居場所がある」を意識した学級づくりと授業づくり
②自己肯定感や自己有用感を醸成する活動の推進
③「発達支持的生徒指導」の視点による取組の推進
④望ましい人間関係を築く力の育成と規範意識を育てる指導の充実
⑤いじめ防止基本方針に基づく、いじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期対応

(2)「分かる授業」「学び合い、高め合う授業」の実践

①ねらいを明確にし、基礎的・基本的な事項の確実な定着を図る授業づくり
②自己選択、自己決定といった自由度をもたせた場を設定する単元構想
③考えを伝え、共有し、互いに高め合う場を大切にした授業実践
④個の見取りと適切な助言、見取りを生かした授業展開の工夫
⑤振り返りによる学びの自覚と、学ぶことのよさを実感することができるような授業の工夫

(3)豊かな心を育み、子どものよさを伸ばす教育活動の推進

①異年齢集団での多様な触れ合い活動の推進
②一人一人の心を育むための道徳教育の充実
③心を豊かにする読書活動の充実
④ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実
⑤児童一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実
⑥子どもの成長・進歩・努力を逃さず認め、積極的にほめる取組の継続

(4)学校運営協議会を核とした、地域連携・協働活動

①「ひまわり活動」を軸とした地域・学校間連携の展開
②外部指導者によるクラブ活動の運営及び日常の授業での「ふるさと先生」の活用
③小・中・高一体型校舎における行事等の運営や児童・生徒、教職員の交流
④学校ホームページ等を利用した積極的な情報発信